

年度当初の防災教育研修プラン

宮城県教育研修センター 専門研究「防災教育グループ」

新たな職員体制となる年度始め、全教職員が防災に関する共通理解を図ることで、学校全体の防災意識を高め、組織的な防災教育を推進します。各校における防災教育のより一層の充実を目指すためにも、年度当初から「防災教育スタートパック」をぜひご活用ください。

1 年度始めに共通理解を図るべき事項

共通理解事項	対応する「防災教育スタートパック」の研修 ◎主なねらい	関連する活動
□防災に関する基礎・基本的な知識	■講義用スライド「防災教育について」 ■講義用スライド「校内の体制整備の必要性について」 ◎防災教育や体制整備に関する知識の共通理解を図る。	○危機管理マニュアルの共通理解，見直し ○避難訓練実施計画の見直し ○避難場所・経路の設定 ○施設・設備の安全点検
□校舎や学区等における危険箇所 □災害発生時の教職員の対応	■防災ワークショップ「校地編」 ■防災ワークショップ「学区編」 ◎地震等の発生を想定し、「起こり得る危険」についての共通理解を図るとともに、「対策・事前指導」などを検討する。	○防災用品や備蓄品の確認 ○学区の巡視，通学路の点検 ○地域の避難場所の確認 等

2 年度当初の「防災研修プラン」(例)

月	日	曜	主な予定の例	防災研修会の案	設定等の例
4	1	月	一斉赴任日		※研修会準備（防災主任等）
	2	火	職員会議	■講義用スライド「防災教育とは」(10分)	※職員会議の中（または終了後）に設定，防災主任が講師
	3	水	各種部会 新年度準備 生徒指導会議	防災研修会Ⅰ(60分) ■講義用スライド「校内の体制整備の必要性」(10分)	※校長または教頭が講師（防災主任に関わる内容が多いため）
				■防災ワークショップ「校地編」(50分)	※防災主任がファシリテーター
	4	木	各種部会 新年度準備	防災研修会Ⅱ(50分) ■防災ワークショップ「学区編」(50分)	※防災主任がファシリテーター
5	金	始業式準備 入学式準備		※始業式：8日（月）	

ここで取り上げた研修の内容や進め方等に関する資料は、すべて「防災教育スタートパック」(H24 宮城県教育研修センター)に掲載されています。また、防災に関する他の研修、指導資料もありますので、ご参照ください。